

平成 29 年度

# 監 査 報 告 書

定 期 監 査  
財 政 援 助 団 体 監 査

富良野市監査委員



## 目 次

定期監査の結果に関する報告の提出について .....	1
定期監査報告 .....	2
監査の対象 .....	2
監査の期間 .....	3
監査の範囲 .....	3
監査の方法 .....	3
監査の結果 .....	4
工事定期監査報告 .....	7
学校定期監査報告 .....	10
財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について .....	13
財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告 .....	14
財政援助団体（補助団体）監査報告 .....	16



富 監 第 4 号  
平成 30 年 2 月 16 日

富 良 野 市 長	能 登 芳 昭	様
富良野市議会議長	日 里 雅 至	様
教育委員会委員長	吉 田 幸 男	様
公平委員会委員長	中 島 英 明	様

富良野市監査委員 宇佐見 正 光

### 定期監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき、平成 29 年度分を対象とした定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

# 定期監査報告

## 1. 監査の対象

### 総務部

財政課 財政係、契約管財係  
税務課 課税係、納税係

### 市民生活部

市民課 市民年金係、医療国保係  
環境課 環境係

リサイクルセンター

市民相談室

ふれあいセンター ふれあいセンター係

出合い総合サポート室 出合い総合サポート係

山部支所

山部福祉センター

山部いきいきセンター

東山支所

東山福祉センター

### 保健福祉部

福祉課 福祉係、保護係、相談支援センター、福祉相談支援係  
高齢者福祉課 介護保険係、介護企画係、地域包括支援センター係

### 経済部

商工観光課 商工労働係、観光係

公設地方卸売市場 公設地方卸売市場係

中心街整備推進課 中心街整備推進係

### 建設水道部

都市施設課 都市整備係、道路公園管理係

幹線道路整備推進課 幹線道路整備推進係

上下水道課 業務係、施設係

水処理センター

### 会計室

会計室 会計審査係

## 教育委員会

学校教育課                      管理係、学務係  
東山公民館                      公民館係

## 議会事務局

庶務課                          庶務係、議事係

## 公平委員会事務局

(27課 39係)

## 2. 監査の期間

平成 29 年 12 月 11 日から平成 30 年 2 月 9 日まで

## 3. 監査の範囲

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 11 月 30 日までに執行された財務及び一般行政に関する事務の執行状況

## 4. 監査の方法

監査の対象となる各部局に対し、下記の資料の提出を求め、この中から抽出により関係書類及び諸帳簿等を検査し、関係職員から事務の執行状況及び内容等の説明を聴取するとともに、現地調査を実施した。

## ※ 提出資料

様式 1 事務分担表

様式 2 歳入予算執行状況

様式 3 負担金補助金交付金等支出状況調

様式 4 現金取扱状況（公金の他、各種団体の現金を含む）

様式 5 契約事務の状況調

様式 6 建設工事施工状況調

様式 7 備品台帳整理状況

## 5. 監査の結果

監査結果の概要は、下記のとおりであり、おおむね適正な事務の執行がなされていると認められた。

なお、軽易な改善や検討、若しくは注意を要する事項については、監査の過程で関係部局に口頭にて改善等を指導したので、本報告では省略する。

### (1) 歳入歳出予算の執行状況（一般会計）

平成 29 年 11 月末現在の執行状況は、予算現額 13,384,770 千円に対し収入済額は 8,678,494 千円、収入割合は 64.8%で前年度同月比 2.2 ポイント増加、支出済額は 7,158,437 千円、執行率は 53.5%で前年度同月比 2.3 ポイント増加している。

### (2) 収入に関する事務

#### ① 収納事務

収納事務については、歳入予算執行状況により土地・建物貸付料、市職員・教職員住宅貸付料等について関係書類を検査したところ、適正に処理されていることが認められた。

#### ② 現金取扱事務

現金取扱事務については、戸籍手数料、諸証明手数料、ごみ処理手数料等の窓口における現金取扱状況を現地調査し、現金額等を確認したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

現金の取り扱いについては、事務の効率化の観点よりも、常に安全で適切な管理体制の構築を重視することが求められている。そのため、収納した現金を指定金融機関等へ引き継ぐまで間の取扱いや金券等受払簿による管理について、適正な体制整備に努められたい。

#### ③ 滞納整理事務

滞納整理事務については、平成 26 年度から「富良野市税等収納対策プロジェクト会議」を設置し、この間、収納別の専門部会を核に各課で取り扱う債権等の整理や法規遵守、問題点の整理、事務の均一化、「債権管理条例」規定の骨子の検討、督促状等の発送事務処理の均一化について協議を進め、今年度電算システム改修と議会への条例提案を行っている。平成 30 年度は条例施行に加え、市道民税・固定資産税・軽自動車税・国保税のクレジット収納の開始が予定されている。

これまでの取り組みにより各税目とも収納率が向上しており、債権管理条例制定に向け、各課が連携し自らがチェックする「内部統制」を機能させ、収納対策の強化を図っていることは評価するが、例年多くの不納欠損処理が発生し



ている。税の公平性の観点から、今後とも滞納債権処理を進めるとともに、一層、効果的な徴収対策に期待する。

### (3) 支出に関する事務

#### ① 補助金等の支出

補助金、交付金、負担金の支出については、抽出により関係書類を検査したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

今後も補助金の支出については、交付要件や必要性など内容を十分に審査し、適正な事務処理に努められたい。

#### ② 旅費の支給事務

旅費の支給事務については、監査対象の全課に対し、出張命令票及び復命書の提出を求め検査したところ、運用規程を遵守し適正に執行されていることが認められた。

#### ③ 臨時的任用職員の賃金支給事務

臨時的任用職員の出勤簿、休暇届、賃金の支出内訳書を検査したところ、おおむね適正に処理されていた。

臨時的任用職員については、勤務時間、雇用形態が多様化していることから、賃金の支出にあたっては、必ず出勤簿や休暇届と照合するとともに、記入方法について臨時的任用職員への指導を徹底されたい。

### (4) 契約に関する事務

各種の契約事務を対象とし、抽出により関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に執行されていることが認められた。

また、一者随意契約をする場合は、競争入札を原則とする契約事務の例外的な執行であることを踏まえ、法令規則等に基づき事務処理を行うとともに、競争性、透明性をより一層確保できるよう努められたい。

### (5) 財産管理に関する事務

公有財産の管理については、おおむね適正に管理されていることが認められる。今後とも適切な事務処理に努められたい。

物品の管理については、備品台帳、不用決定書、処分調書等の関係書類を検査したところ、適正に整理されていることが認められた。なお、個人情報を含む不用品の処分については、個人情報保護の観点から最終処分の状況まで確認に努められたい。

## (6) 団体会計に関する事務

昨年度、本年度と二ヶ年にわたり全部局が担っている団体会計について、監査を実施した。この間、市職員が担っている団体の経理事務について、適正な執行管理がされているかの観点から、収入支出証書、金銭出納簿、現金預金残高の照合を行ったところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

各部局が担っている団体会計は、市が行政目的を達成するための手段として組織した団体と公益性の高い事業の活動団体に分類され、行政目的に合致することを理由に職員が事務の一端を担ってきている。これらの団体は、機動的な事業運営や柔軟な予算執行を行うことにより、行政需要が多様化、複雑化する中で、行政施策の円滑な推進を図るため、補完的な役割を効率的、効果的に果たしてきた。このことから、市が関与する以上、常に公平で透明な事務の執行が求められることから、団体会計の取扱い上の規定や団体の設置目的に照らした達成状況の検証など、団体の自立推進に向けた検討を図られたい。

# 工事定期監査報告

## 1. 監査の対象

所 管 部 局		監査対象工事	うち抽出工事
総務部	企画振興課	1 件	1 件
市民生活部	環境課	1 件	1 件
経済部	商工観光課	1 件	1 件
建設水道部	都市施設課	13 件	5 件
	都市建築課	15 件	2 件
	上下水道課	17 件	4 件
教育委員会	学校教育課	1 件	1 件
ぶどう果樹研究所	製造課	1 件	
計		50 件	15 件

(注) 監査対象工事は、歳出科目 15 節工事請負費に関する工事及び 11 節需用費の修繕料に関する工事（請負金額 100 万円以上）とする。

## 2. 監査の期間

平成 29 年 9 月 20 日から平成 29 年 10 月 31 日まで

## 3. 監査の範囲

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までに発注した工事  
(なお、必要に応じて前年度に発注した工事（繰越明許費）を含める。)

## 4. 監査の方法

監査対象部局から「工事進捗状況調」の提出を求め、進捗状況により工事を抽出し、その設計、工事管理及び工事事務が関係法令等に基づき適正に執行されているかについて関係書類を検査し、関係職員から内容等の説明を聴取するとともに、現地調査を実施した。

## 5. 監査の結果

監査対象工事は 50 件、うち抽出工事は別表のとおり 15 件（抽出率 30%）、その中から 3 件の工事については現地調査を実施したところ、対象となった工事の設計、工事管理及び工事事務は適正に整理されていた。

今後も工事の設計、工事管理等、関係法令に基づき適正に執行し、建設事業の向上に努められたい。

( 別 表 )

## 抽 出 工 事

(注) 請負額の単位は百円単位四捨五入にて千円単位で表示  
現地調査を実施した工事は、工事名称に●印で表示

### 企画振興課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	富良野市情報ネットワーク環境整備事業	166,320	東日本電信電話(株)	29.6.15 ~ 30.3.31

### 環 境 課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
2	● 固形燃料ボイラー設備修繕工事	1,977	(有)糠谷鉄工所	29.8.1 ~ 29.9.30

### 商工観光課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
3	● 五郎の石の家給水修繕工事	1,571	(有)糠谷鉄工所	29.4.7 ~ 29.4.25

### 都市施設課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
4	西町緑地施設修繕工事	2,538	北海道グリーン工業(株)	29.6.27 ~ 29.9.30
5	道路舗装側溝改良工事 (山部東1号外)	15,401	(株)山伏パコム	29.4.28 ~ 29.6.30
6	道路舗装側溝改良工事 (老節布南4号外)	14,591	道路工業(株) 旭川営業所	29.4.28 ~ 29.6.30
7	扇山橋架換工事(上部工)	172,746	大北土建工業(株)	29.6.15 ~ 30.3.20
8	布礼別川添線災害復旧工事 (繰越明許費)	19,732	(株)アラタ工業	29.3.24 ~ 29.8.10

## 都市建築課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
9	スポーツセンター手摺取付工事	3,348	(有)秀建	29.9.8 ~ 29.11.17
10	自然休養村管理センター談話室暖房機改修工事	2,754	(株)菊田建設	29.8.25 ~ 29.10.20

## 上下水道課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
11	量水器取替工事(第4工区)	8,478	(有)糠谷鉄工所	29.4.28 ~ 29.10.31
12	山部水処理センター機械設備修繕工事	2,722	(株)クリタス	29.9.2 ~ 29.12.30
13	山部水処理センターオゾン設備修繕工事	5,022	(株)クリタス	29.8.28 ~ 29.12.20
14	簡易水道量水器取替工事 (学田、島ノ下地区)	3,521	(株)西塚清掃社	29.4.28 ~ 29.8.31

## 学校教育課

(単位:千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
15	● ダムウェーター修繕工事	1,944	(株)マリフト 札幌営業所	29.8.3 ~ 29.10.15

# 学 校 定 期 監 査 報 告

## 1. 監査の対象

富良野市立扇山小学校

富良野市立富良野西中学校

富良野市立東小学校

富良野市立麓郷中学校

富良野市立麓郷小学校

## 2. 監査の期間

平成 29 年 5 月 17 日・18 日

## 3. 監査の範囲

財務に関する事務の執行状況（平成 27 年度・平成 28 年度）

施設維持管理状況

## 4. 監査の方法

学校定期監査は、市内 15 の小中学校を 3 年サイクルで実施している。本年度の監査においては、現金・物品の取扱、各種台帳等の整理、施設の維持管理状況等について、現地調査を実施し、関係書類や施設管理状況を検査した。

## 5. 監査の結果

監査の結果は以下のとおりである。

### (1) 物品等の管理状況

#### ① 備品・備品カード・図書管理

良好であると認められた。今後も図書管理については、整理番号を記した台帳及び備品管理を行い、図書と台帳の照合に努められたい。

#### ② 理科薬品の保管・取扱状況

薬品庫、理科室の施錠やカギの管理、薬品の保存状況は良好に管理されている。薬品には劇薬等もあるため、台帳整理では使用者及び学校長との確認の徹底を図り、今後も適切な保管、取り扱いに努められたい。なお、理科室での火気類取扱いには十分注意を払い、使用済みマッチやビーカー等理科備品の整理整頓にも努められたい。

③ 郵便切手・はがき等の取扱状況

郵便切手・はがき等受払事務については、受払簿、現品等を照合したところ、整理状況は良好と認められた。

④ 学校教育活動費交付金の取扱状況

会計処理はおおむね適正に処理されていると認められたが、収入支出証書及び金銭出納簿の整備、学校長決裁を徹底し、公金の支出にあたって一層の透明性を図り適正な事務処理に努められたい。

**(2) 預り金の管理状況**

修学旅行経費等の預り金については、適正に管理し事務処理されていることが認められた。

給食費については、現金及び口座振替による徴収方法により未納金はなく、年度当初において、保護者への年間諸経費の通知を行い、未納の場合は個別に通知をし、迅速な完納に努めていることが認められた。

また、給食費徴収事務取扱交付金については、適正に処理されていると認められた。今後も適切な支出に努められたい。

**(3) 施設の管理状況**

施設の環境整備及び美化については、適正に管理されていることが認められた。

不審者侵入・盗難防止対策については、日中・夜間共に出入口の施錠を行い、関係者以外の校内への立ち入りが制限されていた。通学路等の交通安全対策についても、各学校でヒヤリハットマップを作成し、校内に掲示するなど事前の防止対策が図られていた。

また、いじめ防止に関しては、各校でもいじめ対策基本方針が策定されている。今後も条例及び基本方針に基づき、『いじめZERO』に向け積極的に取り組まれたい。

学校に設置してある障がい者トイレ（オストメイト対応トイレ）の利用については、校内だけでなく地域へ周知するなど利用拡大に向け検討されたい。

**(4) 個人情報の取り扱いについて**

個人情報の取り扱いについては、富良野市教育委員会が作成した「富良野市立学校における情報セキュリティガイドライン」に沿い、適正に実施されていることが認められた。

また、学校所有の記憶媒体については、各校とも教頭管理となっており、引き続き適切な管理運用に努められたい。





富 監 第 5 号  
平成 30 年 2 月 16 日

富 良 野 市 長    能 登 芳 昭   様  
富良野市議会議長    日 里 雅 至   様

富良野市監査委員    宇佐見 正 光

### 財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

# 財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告

## 1. 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定による財政的援助の監査

## 2. 監査の対象

- |   |      |                  |                |
|---|------|------------------|----------------|
| ① | 対象団体 | 特定非営利活動法人（NPO法人） | ふらの演劇工房        |
|   | 対象施設 | 富良野演劇工場          |                |
|   | 所管部局 | 市民生活部市民協働課       |                |
| ② | 対象団体 | 公益財団法人           | 富良野市シルバー人材センター |
|   | 対象施設 | 有料公園施設           | 東山公園パークゴルフ場    |
|   | 所管部局 | 市民生活部ふれあいセンター    |                |

## 3. 監査の期間

平成 29 年 10 月 13 日から平成 29 年 11 月 30 日まで

## 4. 指定管理機関等

対象施設	指定管理期間	指定管理料		利用料金制 の適用
		年度	金額（千円）	
① 富良野演劇工場	自：平成 26 年 4 月 1 日	27	26,123	有
	至：平成 31 年 3 月 31 日	28	26,558	
② 東山公園 パークゴルフ場	自：平成 25 年 4 月 1 日	27	3,024	有
	至：平成 30 年 3 月 31 日	28	3,024	

## 5. 監査の範囲

平成 27 年度及び平成 28 年度における公の施設の管理運営に係る会計及びその他の事務

## 6. 監査の方法

監査対象団体に対しては、公の施設の管理運営業務に係る事業成績及び会計事務処理等の提出された資料に基づき、関係書類を審査した。

また、所管部局に対しては、協定書等の提出された資料に基づき、関係職員から事務の

執行状況等について聴き取りを実施した。

## 7. 監査の結果

指定管理施設毎の監査の結果は以下のとおりである。

### ① 富良野演劇工場（特定非営利活動法人（NPO法人） 富良野演劇工房）

施設の設置目的に基づき、適正に処理されていると認められた。

富良野演劇工房の運営状況については、指定管理者制度の目的及び施設の設置目的に沿った事務事業が行われており、良好に運営されている。

指定管理者においては、引き続き、多様化する利用者ニーズを把握し、より効率的、効果的な利用促進並びに利用者サービスの向上に努められたい。

所管部局においては、指定管理者と連携して指定管理の基本方針並びに協定書に基づき、事業の内容の把握及び確認等の適切な指導に努められたい。

### ② 東山公園パークゴルフ場（公益財団法人 富良野市シルバー人材センター）

施設の設置目的に基づき、適正に処理されていると認められた。

指定管理者においては、定期的に利用者ニーズを的確に把握しながら利用者サービスを促進してきており、経営努力が伺える。今後とも多様化する利用者ニーズに応じた、より効果的、効率的な利用促進に努められたい。

所管部局においては、指定管理者と連携して指定管理の基本方針並びに協定書に基づき、事業の内容の把握及び確認、災害・緊急時の対応等、適切な指導に努められたい。

監査対象団体の概要は別紙資料1及び資料2のとおりである。

# 財政援助団体（補助団体）監査報告

## 1. 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政的援助の監査

## 2. 監査の対象

- |        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| ① 対象団体 | 一般社団法人 ふらの観光協会                      |
| 補助金額   | ふらの観光協会補助金                          |
|        | 平成27年度 5,146,665円 平成28年度 3,682,520円 |
| 所管部局   | 経済部商工観光課                            |
| ② 対象団体 | 公益財団法人 富良野市シルバー人材センター               |
| 補助金額   | 富良野市シルバー人材センター補助金                   |
|        | 平成27年度 6,500,000円 平成28年度 6,500,000円 |
| 所管部局   | 市民生活部ふれあいセンター                       |

## 3. 監査の期間

平成29年10月13日から平成29年11月30日まで

## 4. 監査の範囲

平成27年度及び平成28年度における財政援助に係る会計及びその他の事務

## 5. 監査の方法

監査対象団体に対しては、補助金に係る団体運営及び事業の会計事務処理等の提出された資料に基づき、関係書類を審査した。

また、所管部局に対しては、補助金の交付事務等の提出された資料に基づき、関係職員から事務の執行状況等について聴き取りを実施した。

## 6. 監査の結果

補助金毎の監査の結果は以下のとおりである。

- ① ふらの観光協会補助金（一般社団法人 ふらの観光協会）  
補助金は、「ふらの観光協会補助金交付要綱」に基づき交付されている。  
補助事業者の団体会計事務については、会計に関する執行規程などに基づき行われており、適正に処理されている。

補助金の交付目的は、富良野地域の公益性を重視した観光事業への補助である。補助金の交付に当たっては、引き続き、毎年の事業実績を検証し、交付団体に対し適切な指導に努められたい。

② 富良野市シルバー人材センター補助金

(公益財団法人 富良野市シルバー人材センター)

補助金は、「富良野市シルバー人材センター補助金交付要綱」に基づき交付されている。

補助事業者の団体会計事務については、会計に関する執行規程などに基づき行われており、おおむね適正に処理されている。

補助金の交付目的は、公益性を重視し、定年退職後などの高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と社会参加を図る事業への交付であるので、引き続き、事業目的に即した事務の執行を望むものである。

監査対象団体の概要は別紙資料2及び資料3のとおりである。

## 監査対象団体の概要

(資料1)

### 特定非営利活動法人 ふらの演劇工房

#### 1. 特定非営利活動法人 ふらの演劇工房の概要

##### (1) 設立目的

ふらの演劇工房は、平成11年に国内初の特定非営利活動法人（NPO法人）として設立され、舞台劇などは勿論のこと、市内外からのコミュニケーションプログラムや表現プログラムによるワークショップの開催、演劇を通じたまちづくりと地域の特色を活かし、行政と市民が協働での芸術・文化活動を推進する組織として、本市の公の施設の指定管理第1号でもある。

富良野地域や富良野を愛する人々に対して、演劇文化の創造と発信に関する事業を行い、地域の恵まれた自然環境を舞台として、演劇のもつ「癒す」「育む」という可能性に着目しながら、演劇活動から生まれる感動を共有し、「演劇のまち富良野」として地域文化の形成に寄与することを目的とする。

##### (2) 事業概要

###### 1) 特定非営利活動に係る事業

- ①演劇文化の創造と発信を推進する事業
- ②演劇リハビリテーション事業
- ③演劇体験学習（ワークショップ）に関する事業
- ④学生に対し演劇鑑賞の機会を提供する事業
- ⑤演劇に関するセミナー・講演会に関する事業
- ⑥演劇に根ざしたまちづくりの調査研究に関する事業
- ⑦劇場の運営管理の受託事業
- ⑧その他上記事業に付随する事業

###### 2) その他の事業

- ①観劇事業
- ②映画の上映
- ③各種研修会、会議、その他演劇公演等の制作並びに企画
- ④観劇に関する物品等の販売並びに喫茶店の経営

##### (3) 構成員等（平成29年11月1日現在）

###### 1) 役職員数

理事長	1人
副理事長	2人
理事	12人
監事	2人

###### 2) 職員数

事務局長	1人（理事から選出）
工場長	—（事務局長兼務）
常勤職員	4人
臨時職員	1人

## 2. 富良野演劇工場の指定管理状況について

### (1) 施設の設置目的

芸術文化の向上と市民の創造的な文化活動の用に供する

### (2) 施設の概要

所在地	富良野市 2283 番 44		
構造	鉄骨造 3階建		
敷地面積	12,443.76 m <sup>2</sup>		
延床面積	2,278.50 m <sup>2</sup>		
施設内容	1階：舞台、リハーサルルーム、ワークショップ、楽屋等	1,327.39 m <sup>2</sup>	
	2階：客席、ホワイエ、ホール、エントランス、事務室等	768.50 m <sup>2</sup>	
	3階：照明室、監事室	182.61 m <sup>2</sup>	

### (3) 施設の構成及び利用料金

(金額：円)

利用区分		利用時間区分			
		午前 9時～12時	午後 12時～17時	夜間 17時～24時	全日 9時～24時
舞台ホール	基本利用料	12,960	19,440	32,400	58,320
	冷暖房料	6,480	9,668	16,148	29,108
リハーサルルーム	基本利用料	2,571	4,422	5,142	9,668
	暖房料	1,131	1,337	1,542	2,880
ワークショップルーム	基本利用料	1,851	3,085	4,525	6,480
会議室	基本利用料	576	720	1,131	1,542
	冷暖房料	174	298	421	720
スタッフルーム	基本利用料	576	915	1,645	2,160
	冷暖房料	246	411	576	966
楽屋1・2	基本利用料	370	617	1,028	1,440
	暖房料	164	277	329	483
楽屋3・4	基本利用料	411	689	1,028	1,542
	暖房料	185	288	329	483
パントリー	基本利用料	360	586	1,028	1,337
	暖房料	154	267	329	483
衣裳室	基本利用料	678	1,131	1,440	2,365
	冷暖房料	308	380	432	720
ホワイエ	基本利用料	3,805	4,525	5,142	9,668
	暖房料	1,131	1,337	1,542	2,880

## (4) 施設の利用状況

(単位：人)

年度	利用者合計	利用者内訳	
		有 料	免 除
27	23,851	10,190	13,661
28	25,057	14,178	10,877

(注) 免除の基準は設置条例第12条による。

## 施設別利用内訳

区 分	平成 27 年度		平成 28 年度		利用人数 前年比(%)
	利用人数(人)	構成比(%)	利用人数(人)	構成比(%)	
舞台ホール	16,486	69.12	16,378	65.36	99.34
リハーサルルーム	4,878	20.45	3,678	14.68	75.40
ワークショップルーム	276	1.16	315	1.26	114.13
会議室 スタッフルーム	688	2.88	1,111	4.43	161.48
楽屋 1	92	0.39	658	2.63	715.22
楽屋 2	130	0.55	439	1.75	337.69
楽屋 3	411	1.72	856	3.42	208.27
楽屋 4	556	2.33	738	2.94	132.73
衣裳室	170	0.71	150	0.60	88.24
ホワイエ	164	0.69	734	2.93	447.56
合 計	23,851	100.00	25,057	100.00	105.06



## (5) 収支決算状況（特定非営利活動法人ふらの演劇工房）

収入の部 (単位：円)

項目	平成 27 年度		平成 28 年度	
	指定管理業務	自主事業	指定管理業務	自主事業
指定管理料	26,123,299	—	26,557,516	—
貸館利用料	4,985,800	—	4,549,880	—
自主事業収入	—	20,145,333	—	24,780,558
合 計	31,109,099	20,145,333	31,107,396	24,780,558

支出の部 (単位：円)

項目	平成 27 年度		平成 28 年度	
	指定管理業務	自主事業	指定管理業務	自主事業
人件費	15,792,384	2,215,984	16,930,372	3,207,866
管理費	15,812,432	1,696,791	15,681,737	2,131,253
自主事業費	—	13,371,602	—	16,645,693
合 計	31,604,816	17,284,377	32,612,109	21,984,812

総体の収支 (単位：円)

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度
収入合計（指定管理業務＋自主事業）	51,254,432	55,887,954
支出合計（指定管理業務＋自主事業）	48,889,193	54,596,921
差し引き	2,365,239	1,291,033

( 資料 2 )

## 公益財団法人 富良野市シルバー人材センター

### 1. 公営財団法人 富良野市シルバー人材センターの概要

#### (1) 設立目的

昭和 61 年に高齢者の豊かな経験と能力を地域社会に役立て、生きがいのある生活を送ることを目的に、富良野市高齢者事業団が発足した。国や市は勿論のこと、民間事業所、個人等から事務作業や農作業、庭木の剪定、施設の管理業務などに携わり、併せて、会員の教育・研修、就労相談、就労機会の拡充など積極的に取り組んできた。平成 15 年には「富良野市シルバー人材センター」に改称、平成 16 年に社団法人の認可を受け、平成 24 年から公益社団法人に移行した。

引き続き、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与している。

#### (2) 事業概要

- ① 臨時的かつ短期的、その他軽易な業務に係る就業を希望する高年齢者のための、就業の機会の確保及び職業紹介事業並びに組織的提供
- ② 高年齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- ③ 事業推進のための普及啓発、安全・適正就業、調査研究、就業分野の開拓・拡大等の諸活動による、高年齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業
- ④ 富良野市が指定する指定管理者として行う公の施設の管理
- ⑤ 高年齢者の多用な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高年齢者の能力活用のために必要な事業
- ⑥ その他センターの目的達成のために必要な事業

#### (3) 構成員等（平成 29 年 11 月 1 日現在）

##### 1) 役職員数

理事長	1 人
副理事長	2 人
理事	8 人
監事	2 人

##### 2) 職員数

事務局長	1 人
常勤職員	4 人
臨時職員	2 人

## (4) 会員数の状況

(単位：人)

	平成 27 年度			平成 28 年度		
	年度末 会員数	会員の異動		年度末 会員数	会員の異動	
		入会	退会		入会	退会
男 性	105	6	22	119	27	13
女 性	66	6	9	69	9	6
合 計	171	12	31	188	36	19

## (5) 受注実績

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度
受注件数 (件)	1,277	1,253
就業延人数 (人)	13,748	13,007
受注事業収入 (円)	80,435,175	80,897,767

## (6) 事業運営に要した経費 (富良野市シルバー人材センター経常費用支出決算額)

〈平成 27 年度〉

(単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象経費
人 件 費	9,981,967	9,025,155
管 理 費	8,386,424	3,424,839
事 業 費	78,996,332	3,981,956
合 計	97,364,723	16,431,950

〈平成 28 年度〉

(単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象経費
人 件 費	11,245,890	8,435,828
管 理 費	4,930,195	3,672,265
事 業 費	79,738,232	3,034,603
合 計	95,914,317	15,142,696

(注) 平成 27 年度は創立 30 周年記念事業実施により経費増

平成 28 年度において補助対象経費項目の見直しあり

2. 有料公園施設 東山公園パークゴルフ場の指定管理状況について

(1) 施設の概要

所在地 富良野市字東山共栄  
敷地面積 22,000 m<sup>2</sup>

(2) 利用料金

区分	利用者区分		金額(円)	団体プレー 20名以上
当日券	富良野圏域内に 住所を有する者	中学生以下	100	200
		高校生・一般	300	
	富良野圏域外に 住所を有する者	中学生以下	200	400
		高校生・一般	500	
回数券 (12枚綴り 3施設共通)	富良野圏域内に 住所を有する者	中学生以下	1,000	
		高校生・一般	3,000	
	富良野圏域外に 住所を有する者	中学生以下	2,000	
		高校生・一般	5,000	
シーズン券 (当該1施設のみ)	富良野圏域内に 住所を有する者	中学生以下	4,000	
		高校生・一般	10,000	
シーズン券 (3施設共通)	富良野圏域外に 住所を有する者	中学生以下	5,000	
		高校生・一般	15,000	
貸用具 (クラブ・ボール)		1セット	200	

(3) 利用実績

種別	利用対象		平成27年度			平成28年度		
			累計(人)	件数(件)	金額(円)	累計(人)	件数(件)	金額(円)
当日券	圏域内	中学生以下	32	32	0	26	26	0
		高校・一般	562	562	168,600	469	469	140,700
	圏域外	中学生以下	0	0	0	12	0	0
		高校・一般	100	100	50,000	100	100	50,000
回数券	圏域内	中学生以下	0	0	0	0	0	0
		高校・一般	537	48.70	146,000	417	38.90	116,750
	圏域外	中学生以下	0	0	0	0	0	0
		高校・一般	7	0.58	2,920	0	0	0
シーズン券	共通	圏域内	3,691	29.30	440,000	3,948	22	330,000
		圏域外		0	0		0	0
	単独	圏域内		21	210,000		27	270,000
		圏域外		0	0		0	0
団体：圏域内		686	621	124,200	466	466	93,200	
団体：圏域外			65	26,000		0	0	
貸用具			56	11,200		55	11,000	
合計			5,615		1,178,920	5,438		1,011,650

## (4) 収支決算状況（有料公園施設 東山公園パークゴルフ場）

収入の部 (単位：円)

項目	平成 27 年度		平成 28 年度	
	指定管理業務	自主事業	指定管理業務	自主事業
指定管理料	3,024,000	—	3,024,000	—
施設利用料	1,178,920	—	1,001,050	10,600
雑収入	—	160,000	10,170	158,500
合 計	4,202,920	160,000	4,035,220	169,100

支出の部 (単位：円)

項目	平成 27 年度		平成 28 年度	
	指定管理業務	自主事業	指定管理業務	自主事業
人件費	2,588,037	72,976	2,465,421	67,595
管理・事務費	1,538,377	182,915	1,138,527	244,582
合 計	4,126,414	255,891	3,603,948	312,177

総体の収支 (単位：円)

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度
収入合計（指定管理業務＋自主事業）	4,362,920	4,204,320
支出合計（指定管理業務＋自主事業）	4,382,305	3,916,125
差し引き	▲19,385	288,195

( 資料 3 )

## 一般社団法人 ふらの観光協会

### 1. 一般社団法人 ふらの観光協会の概要

#### (1) 設立目的

昭和 42 年に富良野市観光協会が設立し、平成 10 年に民間活力の導入による観光地づくりと観光客誘致事業を実施するため社団法人として認可を受け、「ふらの観光協会」に改称し、平成 25 年から一般社団法人に移行した。

本市の観光産業の振興と限りない繁栄に寄与する事を目的として設立され、市内観光振興の一躍を担ってきた。現在は、観光情報の発信拠点である「観光インフォメーションセンター」を核に、観光受け地としての役割を担っている。また、増加する外国人観光客の一層の誘致対策をはじめ、広域での観光振興事業や「ふらの版DMOの設置」等を行政と一体となり取り組んでいる。

#### (2) 事業概要

富良野地域の雄大な自然などを活かした「滞在型・通年型」観光を目指し、観光案内業務や宣伝啓発、観光ホスピタリティの啓発・向上、体験型イベントの拡充、誘客宣伝活動などを実施する。

- ①観光客の誘致を図るための観光宣伝、情報発信、プロモーション、招へい事業
- ②観光客への観光案内、情報提供、ホスピタリティ事業
- ③観光施設の管理・運営・受託事業
- ④観光関係者の資質の向上事業
- ⑤観光土産品の開発・紹介・宣伝事業
- ⑥観光関係団体等へのイベント活動支援事業
- ⑦観光資源の保全・開発及び観光地の美化事業
- ⑧観光情報の収集事業
- ⑨富良野市等からの委託業務及び公益事業
- ⑩旅行業法に基づく旅行業事業並びに一般収益事業

#### (3) 構成員等 (平成 29 年 1 1 月 1 日現在)

役員	22名 (理事19名 (内常勤理事1名)、監事3名)
会員	358団体 (正会員295名 賛助会員63名)
職員	15名 (正職員8名、嘱託職員2名、臨時職員3名)

## (4) ふらの観光協会関係施設入場者数の推移

施設名	平成 26 年度	平成 27 年度		平成 28 年度	
	入場者数	入場者数	前年対比	入場者数	前年対比
五郎の石の家	66,588 人	56,425 人	84.7%	53,183 人	94.3%
拾ってきた家	43,245 人	41,023 人	94.9%	38,856 人	94.8%
麓郷の森	25,070 人	34,121 人	136.1%	34,321 人	100.6%
ぶどう果汁工場	10,055 人	11,091 人	110.3%	9,946 人	98.9%
協会関連施設	144,984 人	142,687 人	98.4%	136,334 人	95.5%

## (5) 事業実績

《平成 27 年度》

(単位：千円)

	対象事業費	補助金額	摘 要
観 光 宣 伝 誘 致	4,074	2,037	道内・道外・国外キャンペーン、パンフレット作成、北の峰コンドラ運行イベント、富良野・大雪・旭川誘致
観 光 施 設 管 理 運 営	4,045	2,023	インフォメーションセンター運営
観 光 地 文 化 創 造	226	113	人材育成 (ホスピタリティ)
ブ ラ ン ド 観 光 圏 事 業	1,261	630	北の峰コンドラ展望台整備、団体向パンフ
観 光 資 源 保 全 ・ 開 発	92	46	観光美化
観 光 情 報 提 供	594	297	IT 整備
合 計	10,292	5,146	

《平成 28 年度》

(単位：千円)

	対象事業費	補助金額	摘 要
観 光 宣 伝 誘 致	3,229	1,614	道内・道外・国外キャンペーン、パンフレット作成、北の峰コンドラ運行イベント
観 光 施 設 管 理 運 営	2,156	1,078	インフォメーションセンター運営
観 光 地 文 化 創 造	343	172	人材育成 (ホスピタリティ)
ブ ラ ン ド 観 光 圏 事 業	677	338	北の峰コンドラ展望台整備、外国語マップ
観 光 資 源 保 全 ・ 開 発	311	156	観光美化
観 光 情 報 提 供	648	324	IT 整備
合 計	7,364	3,682	

